

1 里山ふれあい森づくり（ミニ里山公園型）

主体
兵庫県（農林水産部農林水産局
豊かな森づくり室）

事業場所
兵庫県内の落葉広葉樹、アカマツを主体とする里山林

事業の趣旨・目的
景観、風景の維持保全や生物の多様性の確保を図るとともに、遊歩道や便益施設の設置により、地域住民をはじめ、広く多くの県民が自然とふれあうことのできる里山林として整備する。



事業内容
対象森林
広葉樹、アカマツなどの天然林が大部分を占め、20ha程度のまとまりがある。
利活用
比較的傾斜が緩やかで、森林体験学習や散策に適し多くの県民の利用が期待できる。
維持管理
地域住民等による維持管理の体制が整っている。
以上の条件の整っている里山林の景観、風景の維持保全や生物の多様性の確保を図るとともに、遊歩道や便益施設の設置により、地域住民をはじめ、広く多くの県民が自然とふれあうことのできるように整備する。

平成19年度以降の取り組み

事業期間 : 平成17～22年度
整備箇所数 : 50箇所
整備面積 : 1,000ha

事業の背景・経緯

兵庫県では、平成6年に開催した「全国植樹祭」を契機に、「人と森とが共生できる森づくり」を進める『ひょうご豊かな森づくりプラン』を策定し、全国に先駆けて里山林の整備を進めてきた。

この経験の蓄積を生かし、平成14年度から、保全のみではなく森の回復と再生を目指す『新ひょうごの森づくり』の一つの柱として、新たな里山林の再生整備に取り組んでいる。

2 里山ふれあい森づくり（住民参画型）

主体

兵庫県（農林水産部農林水産局
豊かな森づくり室）
地域住民団体

事業場所

兵庫県内の落葉広葉樹、アカマツを主体とする里山林

事業の趣旨・目的

集落周辺の里山林を、森づくり活動の場、森林体験学習の場等として活用するため、地域住民団体等からの自発的な企画提案をもとに、技術面や市税等の支援を行い、「参画」と「協働」による里山林の再生を図る。



事業内容

対象森林

広葉樹、アカマツなどの天然林が大部分を占め、2ha程度のまとまりがある。

利活用

人家、集会施設、学校の裏山等で、森づくり活動や森林体験学習等の利活用に適している。

維持管理

地域住民等による維持管理の体制が整っている。

以上の条件の整っている里山林を、森づくり活動の場、森林体験学習の場等として活用するため、地域住民団体等からの自発的な企画提案をもとに、技術面や市税等の支援を行い、「参画」と「協働」による里山林の再生を図る。

平成19年度以降の取り組み

事業期間 : 平成18～22年度

整備箇所数 : 100箇所

整備面積 : 200ha

事業の背景・経緯

兵庫県では、平成6年に開催した「全国植樹祭」を契機に、「人と森とが共生できる森づくり」を進める『ひょうご豊かな森づくりプラン』を策定し、全国に先駆けて里山林の整備を進めてきた。

この経験の蓄積を生かし、平成14年度から、保全のみではなく森の回復と再生を目指す『新ひょうごの森づくり』の一つの柱として、新たな里山林の再生整備に取り組んでいる。

3 桜の園「亦楽山荘」他におけるボランティア活動

主体
櫻守の会

活動の場所
桜の園「亦楽山荘」（宝塚市切畑字長尾山地内）：【山手台南公園】：【井植山荘】

事業の背景
武田尾桜の園「亦楽山荘」は、笹部新太郎氏の没後、放置され荒れ放題の状態であった園を、遺族からの寄付と宝塚市の購入によって市有林とし、また兵庫県里山林整備事業了により整備が行われ、99年4月に里山公園としてオープンした。オープン行事植樹会参加者を中心に、ボランティアグループ「櫻守の会」が設立され、現在、【緑の応援団】として、桜の園の管理運営を行っている。



桜の園「亦楽山荘」他におけるこれまでの活動と今後の里山整備個別戦略

桜の園「亦楽山荘」

これまでの活動 99年4月から活動開始、近年は年約20回活動、その平均参加者は30～40名。作業内容は 枯損木の除伐、常緑樹の間伐、笹刈り、園路整備など

今後の里山整備個別戦略

桜の園「亦楽山荘」という歴史的資産を宝塚市民のみならず、近隣市民の共有財産として利用できるよう、桜の育成を中心に整備する。

武庫川に面する特長を生かし川と一体となった里山整備を行う。

福知山線廃線跡ハイキング道に隣接することから、**多くの訪問者**が森と親しめる環境づくりを行う（園路整備など）。

山手台南公園

これまでの活動 00年11月から月1回の活動開始、参加者、作業内容ともに桜の園とほぼ同じ。

今後の里山整備個別戦略

住宅地に近い立地から市民に親しめる里山として整備する。

子どもたちの環境学習の場として整備する。

井植山荘

これまでの活動 03年10月から月1回の活動開始。参加者は上記と同じ。

今後の里山整備個別戦略

山火事跡地のため、焼損木の除伐による植生更新の促進、裸地部分の表土流亡防止のための柵工を実施する。



4 高平ナナマツの森における里山保全活動

主体
三田里山どんぐり
くらぶ、上槻瀬地
区、三田市など

活動の場所
高平ナナマツの森（三
田市上槻瀬地区）
36ha



事業の背景

高平ナナマツの森は兵庫県の里山林整備事業により整備が行われた。その後の維持管理については、地元の上槻瀬区と里山保全ボランティア組織「三田里山どんぐりくらぶ」と三田市が協力して行っている。

<これまでの活動>

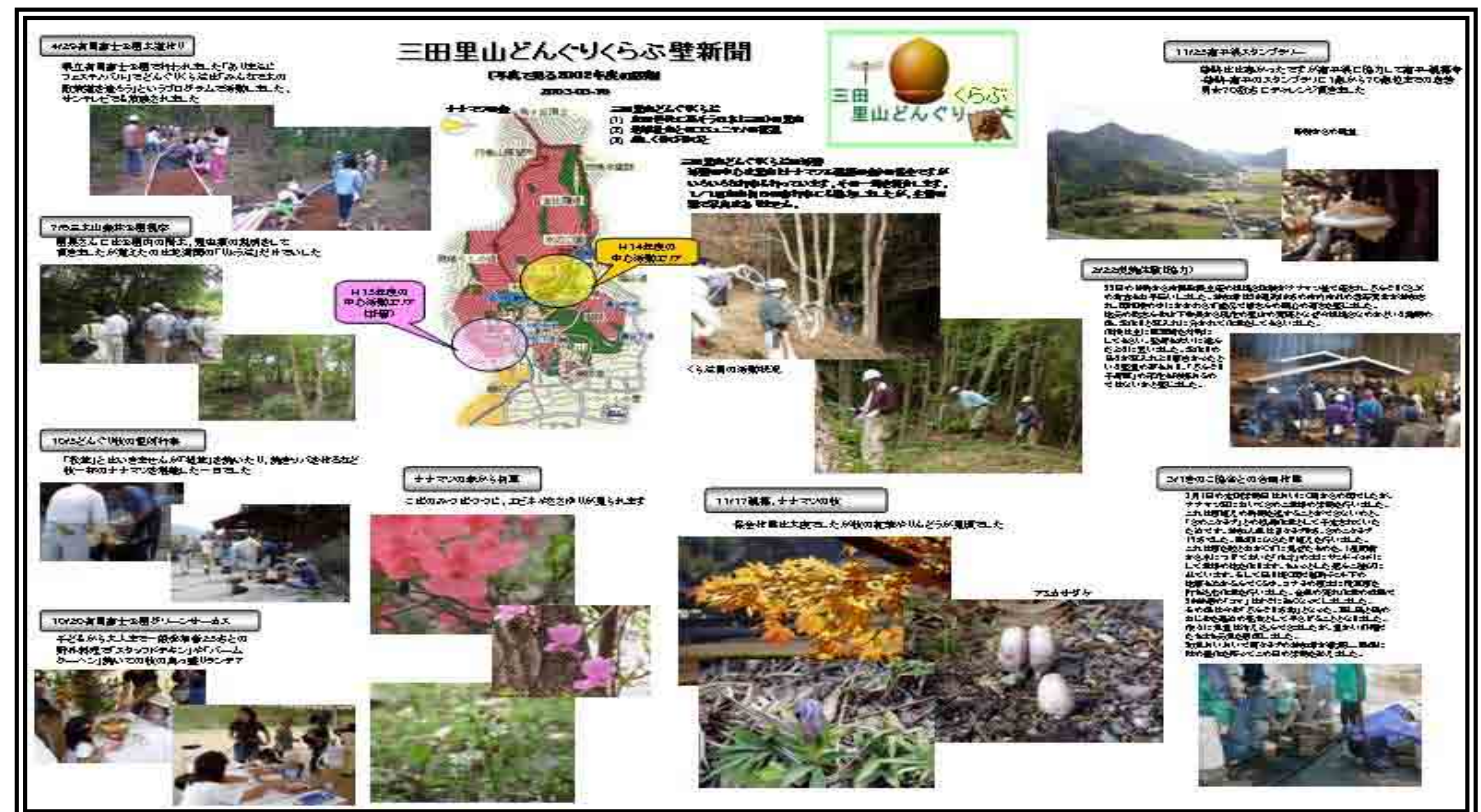
・上槻瀬区

平成9年度に、森林所有者と三田市で20年間の管理協定を締結し、兵庫県が里山林整備を行った。その後、保育管理を行うとともに、炭焼体験教室も開催している。また、区内で活動するボランティア団体、三田里山どんぐりくらぶや棚田交流人への支援も行っている。

・三田里山どんぐりくらぶ

平成9年度に、三田市では一人でも多くの市民に里山の実態、課題等を理解してもらおうと里山管理体験教室を開催した。その参加者の中からボランティアの組織化の声が上がったことから、三田市環境課が事務局となり平成10年1月に結成された。

現在、高平ナナマツの森と高平観福の森で里山保全活動を行っている。



5 高平観福の森における里山保全活動

主体

三田里山どんぐりくらぶ、観福の森運営委員会、三田市

活動の場所

高平観福の森（三田市川原・布木地内）18ha

事業の背景

高平観福の森は兵庫県の里山林整備事業により整備が行われた。その後の維持管理については、地元住民により組織された「観福の森運営委員会」と里山保全ボランティア「三田里山どんぐりくらぶ」と三田市が協力して行っている。

<これまでの活動>

・観福の森運営委員会

平成10年度に、森林所有者と三田市で20年間の管理協定を締結し、兵庫県が里山林整備を行った。その後、地元の川原区、布木区、田中区の住民により「観福の森運営委員会」が組織され、下草刈り等の保育管理を行っている。

・キリンビール水源の森づくり活動

平成11年度に、キリンビール神戸工場の従業員が、地元住民やボランティア団体等と協力して植樹活動を行った。



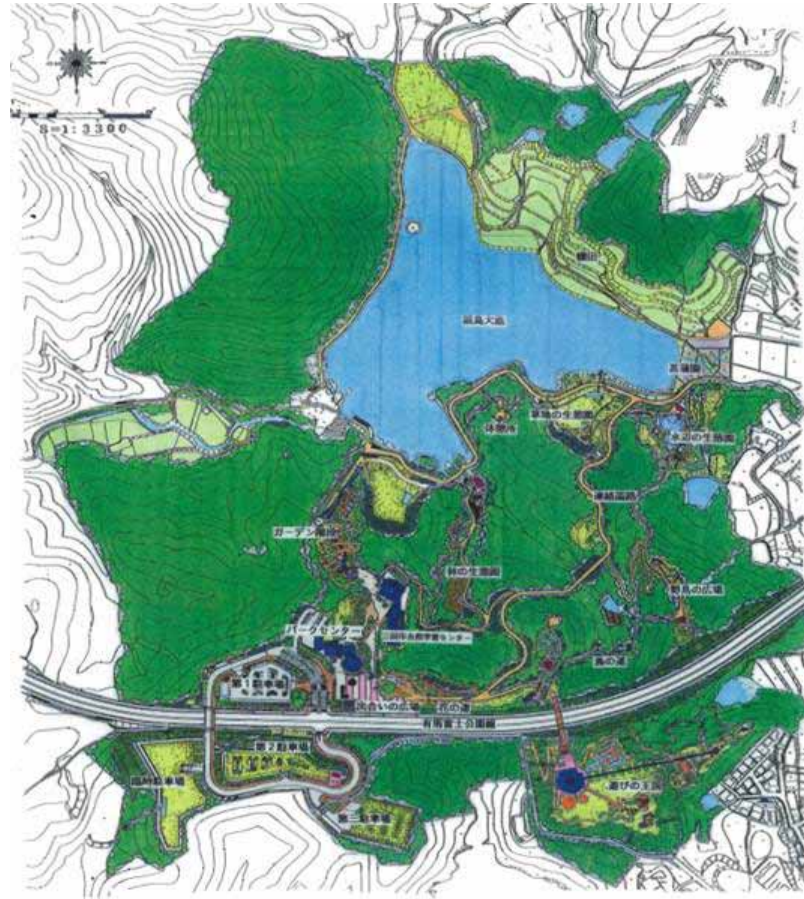
6 有馬富士公園「夢プログラム」事業

主体

兵庫県県土整備部
まちづくり局公園
緑地課、 阪神北
県民局県土整備部
三田土木事務所、
兵庫県立人と自然
の博物館、 財団
法人兵庫県園芸・
公園協会、有馬富
士公園管理事務所

事業場所

県立有馬富士公園
(三田市福島)



事業の背景・経緯

有馬富士公園は阪神間において広域化および多様化するレクリエーションの需要に応じて、豊かな自然環境に恵まれた三田市のシンボルとして、平成13年度に開園した。

この公園は、県立都市公園初の試みとして、兵庫県、兵庫県園芸・公園協会、県立人と自然の博物館、三田市が連携し住民とのパートナーシップによる公園づくりを行っている。

事業内容

公園の管理事務所に住民とのパートナーシップを担当するセクションを設け、公園での住民グループ活動を支援するシステムを構築した。これにより、公園の自然や遊びなどあらゆる資源をもとに、住民が自主企画プログラムを一般来園者に提供している。

また、県立人と自然の博物館と連携し、独自のプログラムを実施することができる人材を育成する講座や人材交流のためのフォーラムを開催し、現在では多くの活動プログラムが生まれている。

平成18年度の取り組み

・夢プログラムの募集

<現在行われている里山プログラムと活動団体>

主な里山プログラム

植物・地質の観察会と研究、ビオトープづくり、棚田や里山の再生・保全・維持・管理活動、棚田での米作り、森の散策道周辺の里山保全活動、森を使った環境学習、生態系の研究

主な活動団体

里山レンジャー、有馬富士植物研究会、森遊くらぶ、自然の学校、三田里山どんぐりくらぶ、緑の環境クラブ、水辺の生物の会、キッピー棚田くらぶ、蛍ありまふじ、ヒメカンアオイの会

・有馬富士セミナーの開催

対象：学生

目的：公園の役割について知る

自らの専攻分野と関連づけて企画を作り、プログラム運営を企画・実践する能力を身につける

・フォーラムの開催

対象：活動グループ(県内外)

目的：県内外の公園関係者・住民リーダーが集い、分科会を通じ情報の交換や交流を行う

平成19年度以降の取り組み

・公園内で行われる里山プログラムと他事業地で行われるプログラムとの連携

・夢プログラムの募集、セミナーの開催、フォーラムの開催

事業実施上の課題等

公園内での取組は活発で、内容も充実したものであるが、地域との連携があまりない。今後、他の事業地と連携し、公園の中のみならず、里山の景観、生物多様性の保全、維持に携わる機会づくりや人材育成を行っていく。